

南房総市定例記者会見

日時 平成29年4月26日（水）
午前10時30分
場所 市役所本庁舎 本館 応接室

【会見項目】

- (1) 平成29年度版「ことしの予算」を発行
- (2) 企業誘致や起業を強力にサポート
- (3) 起業家をバックアップ「南房総市起業家支援事業」
- (4) 平成28年度のふるさと納税1億5千万円を超える
- (5) 南房総名品づくりグランプリ出場商品を道の駅で販売
- (6) 地域商社機能構築業務のパートナー企業を選定

【その他】

5月行事およびイベント情報

定例記者会見 平成29年4月26日 開催

会見項目No. 1

平成29年度版「ことしの予算」を発行

南房総市では、平成29年度の予算を分かり易く解説した冊子「ことし予算」を4月27日に発行、配布を開始します。

「ことしの予算」は広報紙の1つで、南房総市予算説明書保存版として平成19年度から発行している市民向けの冊子です。例年、「広報みなみぼうお知らせ版5月号」と共に各世帯に配布しています。

冊子はA4サイズの22ページで、子育て支援や教育の充実、地域経済・産業振興、保健・医療・福祉の充実等の項目毎に、ことしの主な仕事等を紹介しています。

可能な限り平易な表現を用いるなど、多くの市民に関心を持ってもらえるような工夫と見やすい紙面の構成に配慮しました。

市の活動方針や内容を市民が理解し、市政の円滑な推進に繋がることを期待しています。

【参考情報】平成29年度版「ことしの予算」

【問い合わせ】

南房総市 総務部 企画財政課 財政係 担当者：石井
電話：0470-33-1001 F A X：0470-20-4598
e-mail アドレス：kikakuzaisei@city.minamiboso.lg.jp

定例記者会見 平成29年4月26日 開催

会見項目No. 2

企業誘致や起業を強力にサポート

南房総市は、平成29年度予算で4,130万円を計上し、引き続き企業誘致や起業を強力にサポートしていきます。

市では都会からの新しいひとの流れをつくり、地域にしごとをつくるため、商工課所管の下記8事業を展開、各種セミナーの開催や企業誘致・起業支援に取り組みます。

また、千葉県の「千葉の宝を生かした思い出の学び舎（空き公共施設）等への企業誘致や開発合宿による地域活性化事業」と連携した事業を県内関係7市町と実施し、雇用創出や定住人口の増加を図ります。

設備投資等に対する助成制度のほか、UIターン者向けのセミナーや地元企業とのマッチングイベント、スキルアップセミナー等を開催し、市内で働きたい人を多様な視点で応援していきます。

- 東京圏企業・起業家交流イベント事業（550万円）
- UIターン地元企業マッチングイベント事業（370万円）
- クラウドソーシング人材育成事業（600万円）
- 起業家支援事業（500万円）
- 空き公共施設活用事業（400万円）
- 中小企業新事業及び雇用創出支援事業（設備分）（1,500万円）
- IT企業人材育成事業（90万円）
- 創業支援セミナー（15万円）

【参考情報】ことしの予算P6-7、空き公共施設等を活用イベントチラシH29.1.25

【問い合わせ】

南房総市 商工観光部 商工課 商工振興係 担当者：根形
電話：0470-33-1092 F A X：0470-20-4230
e-mail アドレス：norin@city.minamiboso.lg.jp

定例記者会見

平成29年4月26日 開催

会見項目No. 3

起業家をバックアップ「南房総市起業家支援事業」

南房総市では、新たに事業を開始する（事業を開始してから3年未満を含む）方、または市内に事業所を移して事業を始める方向けの支援制度「南房総市起業家支援事業補助金」の募集を始めました。

この制度は、事業所の開設・改修、事業開始に必要な備品類の購入、事業所の家賃等を支援するもので、補助率は補助対象経費の30%以内で上限は100万円です。

これまでに12人がこの支援を受け市内で起業し、飲食業やIT関連など様々な業種分野で夢の実現に向け奮闘しています。

市独自の支援策で起業家の新たな事業展開を強力にバックアップ、地域経済の活性化と子育て世代の増加を目指します。

○対象者 起業する方、又は起業の日から3年を経過しない方で、市税等の滞納がない等要件を満たす方。

○対象経費 事業所の新築、改築にかかる経費
事業所等の開設に係る設備・備品購入費等
※消耗品費及び税の性質を有するものを除く。
事業所等の賃借料（駐車場代含む。）

○補助率及び補助金額 補助対象経費の30%以内、補助金の上限 100万円

○申請方法等 随時受付しますが、予算がなくなった時点で受付終了となります。補助金の交付決定は6月上旬以降となりますので、ご注意ください。制度の詳細や提出書類の記入方法等は商工課へお問合せください。

【参考情報】募集チラシ

【お問い合わせ】

南房総市商工観光部 商工課 商工振興係 担当：小谷
電話：0470-33-1092 FAX：0470-20-4230
e-mail アドレス：shoko@city.minamiboso.lg.jp

定例記者会見 平成29年4月26日 開催

会見項目No. 4

平成28年度のふるさと納税 1億5千万円を超える

平成28年度の「魅力の郷づくり事業（ふるさと納税）」の寄附実績は、下記のとおりでした。

子どもたちの笑顔を育む事業寄附金	1,549件	40,475,023円
自然環境を活かした地域づくり事業寄附金	1,206件	32,282,000円
市民が主役のまちづくり事業寄附金	166件	5,357,000円
その他事業寄附金（自治体におまかせ）	2,721件	75,797,000円
合計	5,642件	153,911,023円

平成27年度との比較では、件数が1,478件の減でしたが、寄附額は6,976,559円の増、前年度比104.8%でした。平成28年度の寄附件数のうち、平成27年度にも寄附をした人による寄附が1,036件あり、全体の18.4%でした。リピーターを増やし、南房総市ファンを増やすという目的を達成するため、今後もリピート数の向上と新規のファン獲得を目標に事業を推進していきます。

その他に平成28年5月10日から8月10日まで、「熊本地震支援寄附金」として95件、2,412,830円のふるさと納税を熊本県への代理納付として受付け、寄附者から寄せられた応援メッセージと共に熊本県に送りました。

年度内の最高寄附額は、東京都千代田区在住の40代男性による1,000,000円でした。寄附件数、寄附額とも12月31日が一番多く172件、5,995,000円の寄附を受付けました。お礼の品選択の上位は千葉アクアメロン、房州びわ、伊勢えびでした。

お礼の品の登録状況は、お礼の品の発送を開始した平成27年8月の24社から31社となり、品目数は54品から210品目となりました。

寄附金の使い道については、平成28年1月から12月までの寄附金、106,082,000円を平成29年度当初歳出予算として計上しており、目的に合った用途で有効に活用いたします。

【参考情報】年度別実績資料

【問い合わせ】

南房総市 総務部 企画財政課 総合政策係 担当者：松田浩史
電話：0470-33-1001 FAX：0470-20-4598
e-mailアドレス：kikakuzaisei@city.minamiboso.lg.jp

定例記者会見 平成29年4月26日 開催

会見項目No. 5

南房総名品づくりグランプリ出場商品を道の駅で販売

南房総市では「農商工連携」または「6次産業化」により新たに生み出された商品を広くプロモーションすることで、商品の素材となる市内農林水産物の生産拡大と第1次産業従事者の所得の向上を目的に、地域の事業者が農商工連携などで開発した新商品を集め、商品開発までのストーリーと商品の魅力をグランプリ形式で競い合う、第1回「南房総名品づくりグランプリ」を2月に開催しました。

グランプリでは、事業者が、開発ストーリーや商品へのこだわりなど、映像を交えてプレゼンテーションし、石井市長や堀江観光協会長など9名の審査員が試食審査を行い、各賞を決定しました。

今回、プロモーションの一環として、市内6か所の道の駅に入賞作品を中心とした期間限定の販売コーナーを設置し、4月28日（金）から販売を開始します。

グランプリを開催してから「どこに売っているのか」「いつから販売するのか」など市役所へ多数問合せがありました。ゴールデンウィークを前に実施いたします。

販売期間は、販売コーナーを設置する各道の駅によって異なりますが、ゴールデンウィークで多くの観光客も訪れるので、新しい南房総の特産品をPRする良い機会にしていきます。

○取扱道の駅

道の駅とみうら枇杷倶楽部、道の駅「三芳村」鄙の里、道の駅富楽里とみやま道の駅ちくら潮風王国、道の駅和田浦WA・O!、道の駅ローズマリー公園

○取扱商品

「金ぷりん・銀ぷりん」、「赤い鯖・白い鯖」、「地魚燻製・チョイ燻」

「鰻屋のからし茄子」、「生姜やさんのゼリー」

「ミルクジュレ」（枇杷倶楽部、富楽里のみ）、「メンチさば丸くん」（潮風王国のみ）

【参考情報】 販促ポスター、広報みなみぼうそう 2017年3月号 P2-4

【問い合わせ】 南房総市 農林水産部農林水産課地域資源再生室 担当者：石野・佐久間
電話：0470-33-1073 FAX：0470-20-4592 e-mail アドレス：shigen@city.minamiboso.lg.jp

定例記者会見 平成29年4月26日 開催

会見項目No. 6

地域商社機能構築業務のパートナー企業を選定

南房総市では、「農商工連携」や「6次産業化」を促進するため、地域商社機能構築業務に係るパートナー企業を募集、(株)DIGLEEを代表企業とする共同企業体を協定事業者を選定しました。選定は、地域製品のマーケティングやブランディング、販路開拓並びに販売が実施できる能力を必要とするため、企画提案方式（プロポーザル方式）で行いました。

共同企業体は、市内特産物の安定仕入、特産品の企画・開発、特産物・特産品のブランディング、PR、販売など、南房総市の営業マンとして国内のみならず海外での販売を見据え、売れるモノづくりや販路開拓の活動をしていきます。

共同企業体は、青果から魚介類まで幅広い品目を取り扱い、取引のある販売先を中心に販売側のニーズを満たせる内容を提案、販路を拡大していく構想です。

また、共同企業体となっている金融機関は、自らが持つ国内外の販売先の情報や加工商品が作れる事業者情報等を提供することで連携していきます。

今後、協定に向け、業務内容や役割分担、成果の取扱等の詳細を協議していきます。

○協定締結予定事業者【共同企業体】

代表企業：(株)DIGLEE

共同企業：(株)JAS、(有)与助丸商店、ハクダイ食品(有)

金融機関：(株)千葉銀行、(株)京葉銀行、(株)千葉興業銀行、君津信用組合

※地域商社とは、生産者に代わって新たに販路開拓し、1円でも高く生産者から産品を買い取れるよう、市場から従来以上の収益を引き出す役割を担うとともに、地域関係者を巻き込み、農産物等の地域の資源をブランド化、生産・加工から販売まで一貫してプロデュースし、地域内外に販売する組織です。国では2020年に向けて、モデル的地域商社の設立を全国で100社目指しており、行政と民間が協働して設立する地域商社は、千葉県で初となります。(現在、経済産業省で把握しているものは20弱)

【参考情報】

【問い合わせ】南房総市 農林水産部農林水産課地域資源再生室 担当者：石野
電話：0470-33-1073 FAX：0470-20-4592 e-mail アドレス：shigen@city.minamiboso.chiba.jp